

住民主体のまちづくり

No.32 2016. 7

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 特殊詐欺被害を防止する取り組み

社会福祉協議会は、代議員会を6月21日に行き「特殊詐欺被害を防止する地域モデル検証事業」の12項目について具体的な取り組みの協議を行いました。

①現状把握のアンケート調査について

6/29の自治会長会で、アンケート用紙を説明し65歳以上の住民に配布回収を依頼された。

②特殊詐欺電話へ出ない対策

③ATMに被害者が移動する様子の見分け

④被害に遭う時間帯の見回り強化

以上3項目は7/19に公民館で19:30から米子警察署の担当官から関係者の研修を受けた。



⑤窓口対応者の気づき

警察担当官と関係者で地域の金融機関等に協力依頼して回る。

⑥模擬訓練の実施

車尾郵便局で11/15に実施します。

⑦寸劇による広報

11月に自治会の集会で上演する。

1月に「新春の集い」で上演する。

⑧啓発グッズの注文配布

のぼり旗。うちわ。チラシなど

⑨講習会の開催

7/19に②③④の内容で行う。

⑩外部講師による助言指導

東京の公益財団法人「消費者教育支援センター」

の主任研究員に5/19、7/12、10/7の3回うける。

⑪セミナー等への参加

6/29に東京で「消費者教育シンポジウム」に辻会長が参加。

⑫事後アンケート

1月に①と同様に行う。分析と報告書は専門事業者に依頼する。

■ わがまち支え愛連絡会

この会は、半年ごとに開くことになっております。そして自治会間の情報交換をして互いに効果的な所を取り入れながら「支援の必要な方々」を支援していく体制づくりを強化していくものです。

6月21日に特殊詐欺被害を防止する取り組みの後に行いました。少しずつ体制が出来てきています。

支援の必要な対象者を周りのA～Eの方々が協力し合って日常の見守りと災害時の支援を役割分担しておくといいです。



支え愛マップ

自分たちのまちは自分たちで(つくる つなぐ つづける)